

市民病院の再整備について

1 候補地の検討状況

市民病院の再整備候補地については、関係各局の局長級職員を委員とする「横浜市立市民病院再整備検討委員会」を組織し、全市的な視点から協議を行っています。

協議においては、4方面の検討対象（現所在地及びその周辺、羽沢方面、新桜ヶ丘方面、岡野西平沼方面）について、それぞれのメリットと検討課題を抽出し、病院建設に最適な候補地の選定に向け、検討を重ねているところです。

2 「横浜市立市民病院再整備検討委員会」開催状況

第1回：24年5月29日 第2回：24年8月30日
第3回：24年10月29日 第4回：25年2月7日

3 再整備候補地の選定について

(1) 考慮すべき事項

ア 地域医療の確保

- ・市立大学病院や市立病院、地域中核病院等で構成される本市の医療提供体制や、現病院に通院している患者の利便性を損なわないこと
- ・現病院が地域医療機関との間で構築している医療連携体制を維持できること

イ 政策的医療の実施

- ・今後市立病院として求められる、災害医療拠点病院の先導的役割を果たせること
- ・市域の救急医療、小児・周産期医療等を担う医療機関の配置バランスや役割分担を維持できること

上記の視点を踏まえ、

◆アクセス、利便性	◆費用	◆災害対策	◆開院までのスケジュール
◆他病院との関係	◆建設条件等	◆相乗効果（まちづくり等）	

などの項目について比較検討を行っています。

(2) 候補地の検討対象

①現所在地及びその周辺 ②羽沢方面 ③新桜ヶ丘方面 ④岡野西平沼方面

(3) 各検討対象の主なメリットと検討課題

裏面参照

各検討対象の主なメリットと検討課題

「現在地及びその周辺」については、「現病院敷地内での建替え」と「三ツ沢公園」について検討を行っています。

		メリット	検討課題
現在地及びその周辺	現病院敷地内での建替え	<ul style="list-style-type: none"> ○二次保健医療圏や実際の患者の通院範囲である診療圏に変化がなく、現在の病院の来院患者の利便性に影響が少ない。 ○幹線道路、高速道路ともに至近でバス便も多いなどアクセスは良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機能が複数棟に分断されるため、現病院の課題である複雑な動線、建物の使いづらさに起因する機能の分散と効率の低下が解消できない。 ○現病院敷地内では面積が不足しており、隣接地(約1万㎡)の取得が必要。 ○病院建設は建物の取り壊しと建設、移転を繰り返す必要があることから、通常約2～3年の工期が約7年になると想定され、建設費も増加が見込まれる。
	三ツ沢公園	<ul style="list-style-type: none"> ○広域応援活動拠点等である三ツ沢公園での再整備により、公園と病院が一体となった防災機能の強化を図ることができる。 ○実際の患者の通院範囲である診療圏に変化がなく、現在の病院の来院患者の利便性に影響が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院建設には都市計画(都市公園)の変更が必要であり、変更には公園利用における利便性の向上や、同等以上の機能を有する代替地が必要となる。 ○みどりの多い公園の利用に際し、樹木の多い区画を避ける必要がある。 ○三ツ沢公園は神奈川区に立地しており、二次保健医療圏を越える移転となるため、県等との協議が必要となる。
羽沢方面		<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川東部方面線の新駅が設置予定であり、鉄道のアクセス向上が見込まれる。 ○新駅設置により地域の状況が変化する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地区画整理事業等による基盤整備や都市計画の変更などが必要となり、病院建設までのスケジュールの見込みが立てにくい。 ○「羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」が作成した地区プラン(協議会案)等を踏まえると、現状では病院の建設用地の余地がない。 ○新駅設置により横浜労災病院が隣駅となるほか、横浜船員保険病院により近接する。
新桜ヶ丘方面		<ul style="list-style-type: none"> ○藤塚 IC 隣接のため、複数の自動車専用道路等による遠方からの車のアクセスは良好である。 ○地権者に売却の意向があり、用地取得に障害が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○接続道路が2車線の尾根道のため、渋滞時の緊急車両の通行に支障が生じることが懸念されるほか、鉄道駅からの徒歩での来院が困難となる。 ○現病院から離れており、現地周辺の患者が来院しにくいほか、医療連携の維持が困難となる。 ○都市計画法に基づく開発許可の技術基準を満たしていないため道路拡幅等が必要で、費用増加や開院の遅れが想定される。また、敷地の一部は法面で使用できない、地下の JR 貨物線による建築制限があるなど、建築設計の柔軟性が低い。
岡野西平沼方面		<ul style="list-style-type: none"> ○駅が複数あり鉄道のアクセスが良好である。 ○横浜駅から比較的近く、都市災害等患者多数発生時の医療対応が円滑に行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波浸水予測区域、液状化の可能性が高い地域があり、市民病院の移転にあたっては、災害医療拠点病院の機能確保のための対策が必要である。 ○幹線道路に囲まれているが、域内の道路状況は狭いので頻繁な緊急車両通行時の支障が懸念される。 ○アクセス面の改良を含む基盤整備を行う場合、病院建設のスケジュールが遅れる可能性がある。

<別紙> 候補地の位置関係

